IV. 埋蔵文化財展・埋蔵文化財講演会の記録

平成 16 年度　埋蔵文化財展・埋蔵文化財講演会について

1　目的

愛知県埋蔵文化財センターの発掘調査により出土した資料を広く公開し、また、学識経験者による講演会を開催することによって、県民の埋蔵文化財に対する理解を深めるとともに、郷土に残された先人の歴史を考え、文化財保護意識の向上を図る。

2　主催

愛知県教育委員会
一宮市博物館
財団法人　愛知県教育サービスセンター

3　主管

愛知県埋蔵文化財センター

4　埋蔵文化財展

1）会場：一宮市博物館
　一宮市大和町妙興寺2390（0586-46-3215）
2）日時：平成16年7月17日(土)～8月29日(日)
　9.30～17.00　月曜休館
　［7月19日(月)開館・20(火)休館］
3）タイトル：「弥生水都（すいと） 二千年」

5　埋蔵文化財講演会（参加自由）

1）会場：愛知県一宮勤労福祉会館
　一宮市若竹町3丁目1-12（0586-77-6612）
2）日時：平成16年8月15日(日)
　午後1.30～4.30
3）講師：石野博信（ひろのぶ）氏（徳島文理大学教授）
4）演題：弥生の國々とその都

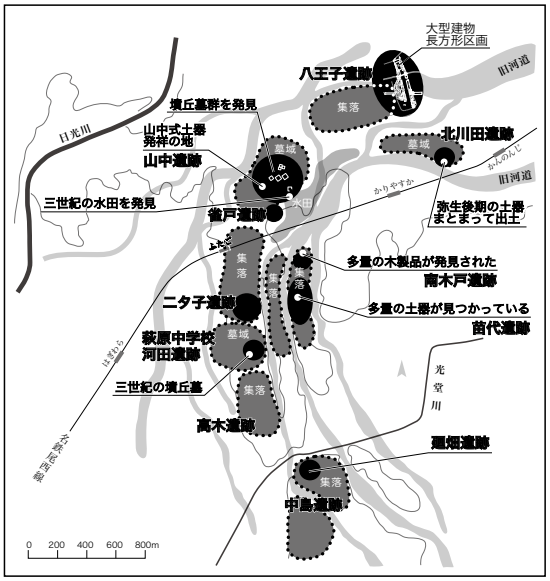


6　関連事業の内容について

埋蔵文化財展

1）「弥生水都 二千年 －葉栗臣人麿（はぐりのおみひとまろ）が語る考古学むかし話－」

一宮市周辺の遺跡調査とその研究成果に基づき、弥生～古墳時代までの海部・中島・葉栗郡の歴史を概観し、特に一宮市八王子遺跡を中心にした出土遺物のほかに、写真・想定図などのパネルを用いて展示紹介する。



萩原遺跡群（一宮市）


八王子遺跡（一宮市）出土遺物


八王子遺跡・北道手遺跡（一宮市）出土遺物

葉栗一族に残る物語

草木たちがことばをしゃべっていたはるか昔々、人々はあらゆるものに神々が宿ると信じ、それを崇めてくらしていた・・・・・。

このあたりは、いたる所で泉が湧き、良き水があり、それを求めて人や動物たちがあつまってくる。

カゲロウムラ（一宮市元屋敷遺跡）

南の川の辺ほとりに、古い古いムラの跡がある。今は土に埋もれ何も残っていないが・・・。

この場所は夏の満月にカゲロウが飛び交い、かつては「カゲロウムラ」と呼ばれていた。

我が一族がこの地にやって来るはるか以前、ここに大きなムラがあり、この葉栗の地に米作りの技術を伝えたムラと聞いておる。

白く輝く器（山中式土器）

萩原の地にかつてとてもとても大きなムラがあった。今の都のようなに賑わいで、多くの部族が集まってきていたそうだ。萩原の民は、見たことがないような美しい器を作ることができた。

ムラは、川と泉いずみに囲まれた、それはそれは美しい「水の都」であった。

オウと呼ばれた英雄神（八王子遺跡の大型建物）

とても寒い年が続いた春に、萩原の地で大部族長会議が開かれることになった。

天にもとどくような建物ができ、その中で不思議な器や道具が運び込まれた。

そして、多くの部族長の中から、顔に鳥のイレズミをもつ一人の若者が選ばれ、周囲の部族を従えていった。

やがて彼はオウと呼ばれた英雄神となり、この水の都に祀られる。

アガタヌシ

時がたちヤマトに大王が登場すると、この地にも大王からの使者がやって来るようになった。

ここから南に半日ほどいった所に島田という所がある。ここにそのむかしアガタヌシが住んでおった。

アガタヌシは大王の命を無視して、温原の民と豊かに暮らしていたが、これに怒った大王は戦士を遣してアガタヌシを滅してしまった。

島田に残る古い塚の跡は、アガタヌシを滅ぼし、島田の地を治めた人物の墓である。

葉栗臣人麿からの手紙

米作りを伝えた弥生カゲロウムラの人たちも、萩原の地に水都を築いた人たちも、いまは何処へとさっていった。ヤマトの大王は巨大な古墳を築くことをやめてひさしい。聞けば都には大きなお寺が次々に造られておるという。

木曽川と良き水があちこちに湧き出すこの地にも、皆みなで葉栗の寺を造ることにした。真清田の神や民はよろこんでくれるであろう。

物語を聞いてくれた旅人よ、縁があったらまた合あおう。そして耳をかたむけて欲しい。

土に眠る古代からの独り言を・・。



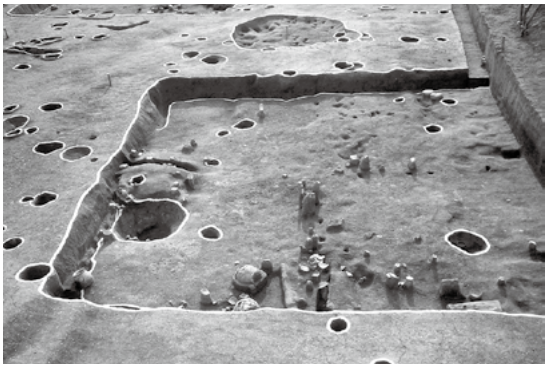
2）愛知県埋蔵文化財センター　埋蔵文化財新出土品展

愛知県埋蔵文化財センターが平成15年度に発掘調査した遺跡の紹介。

瓶子（へいじ）窯跡（瀬戸市）・一色青海（いっしきあおかい）遺跡（中島郡平和町）・小針（こばり）遺跡（岡崎市）・惣作（そうさく）・鐘場（かねば）遺跡（瀬戸市）ほか



一色青海遺跡（中島郡平和町）作業風景



惣作・鐘場遺跡（瀬戸市）竪穴住居



瓶子窯跡（瀬戸市）出土遺物

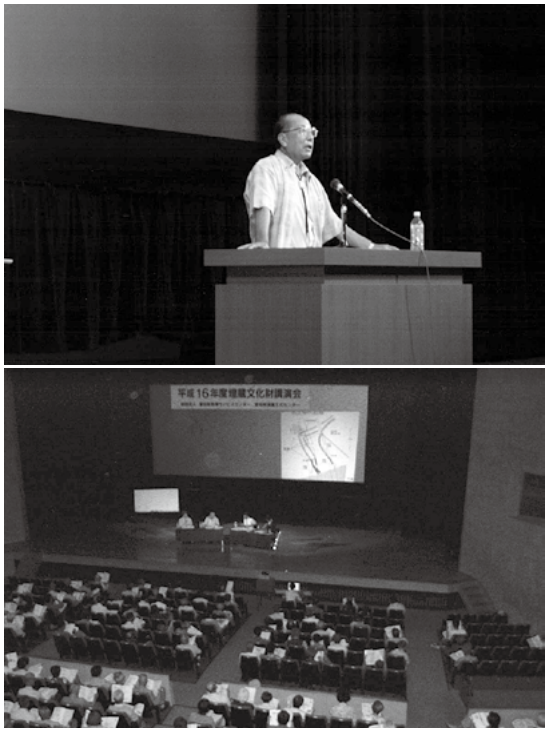




一色青海遺跡
出土遺物

埋蔵文化財講演会

石野博信氏（徳島文理大学教授）による「弥生の國々とその都」と題する講演会を実施し、その後「幻の巨大遺跡、一宮市萩原遺跡群の謎を探る」と題して、パネリスト森岡秀人氏（芦屋市教委）・石黒立人（愛知埋文セ）・赤塚次郎（愛知埋文セ）を加えたパネルディスカッションを開催。



講演会・パネルディスカッションのようす

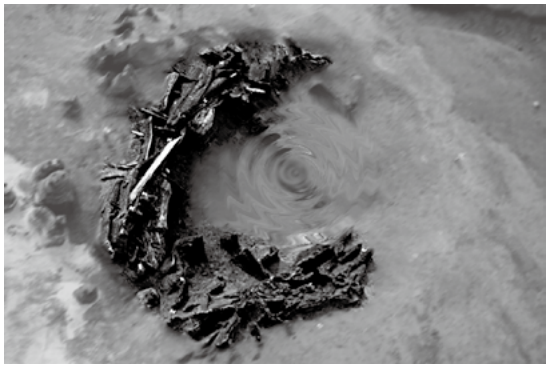
Photo・ギャラリートーク

一宮市八王子遺跡のスライド写真をまじえた展示解説（午後２時から40分程度）。

場所：一宮市博物館展示室

講師：愛知県埋蔵文化財センター調査課職員

日時：７月17日(土)・７月31日(土)・
８月７日(土)・８月21日(土)・８月28日(土)



八王子遺跡の泉イメージ



仙界のイメージ

その他

一宮市博物館主催による小・中学生対象文化体験プログラム「子どものための尾張歴史講座」を開催。

場所：一宮市博物館学習室ほか

内容：午前10.00～12.00 午後1.00～3.00

８月１日（日）「石器を作る・石器を使う・石器を観察する」

８月８日（日）「土器を作る・土器を使う・土器を観察する」

８月15日（日）「縄文時代の布を編む・弥生時代の布を織る」

８月22日（日）「古代人から学ぶ木の性質と木の道具」

８月29日（日）「金属器・・・耳飾りを作る」



歴史講座のようす



（赤塚次郎）